

# 令和7年度 [高知県版] 南海トラフ地震による最大クラスの震度分布・津波浸水予測の概要

## 震度分布・津波浸水予測を公表する目的

○国がR7.3に公表した新たな被害想定をベースに、県内の地質調査結果や最新の地形データなどを加味し、より精緻に「震度分布・津波浸水予測」を行い、**県が進める南海トラフ地震対策の根幹とする。**  
○**最大クラスの地震・津波から県民の皆様の命や生活を守るために**、揺れ対策や津波避難対策、発災後の応急対策、速やかな復旧・復興といった「**事前の備え**」を推進する。

## 公表する震度分布・津波浸水予測の概要

### 【最大クラスの地震・津波】

- ・現時点の最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの震度分布・津波浸水予測を推計
- ・現在の科学的知見では、発生時期を予測することはできないが、その発生頻度は極めて低い

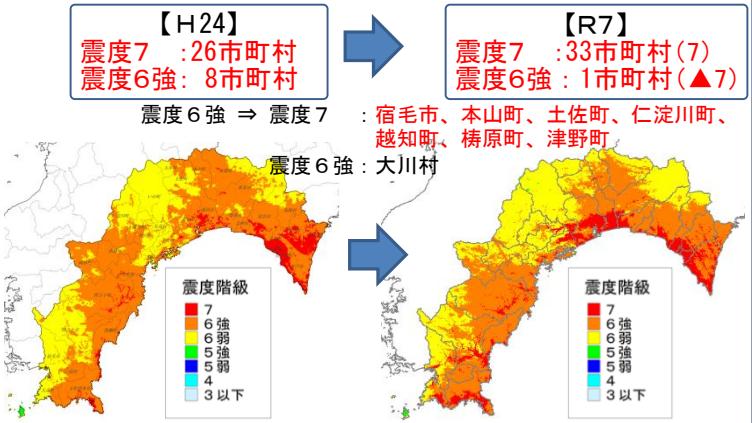
## 震度分布予測

### 1) 推計の条件

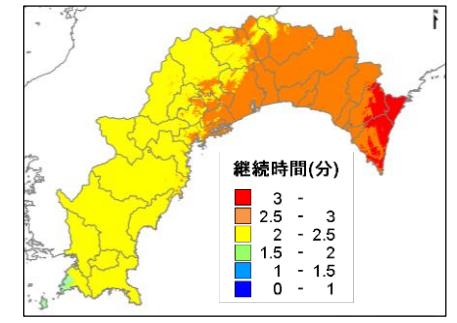
- 内閣府の4ケースの強震断層モデルにより推計
- 官民が保有する県内約1万本の地質調査結果を追加し、計19,500本のデータから地盤をモデル化
- 地盤の地質特性を踏まえて震度をより適切に算出するために、解析手法を見直し

### 2) 震度分布と最大震度の占める割合

#### 震度分布 (H24→R7)



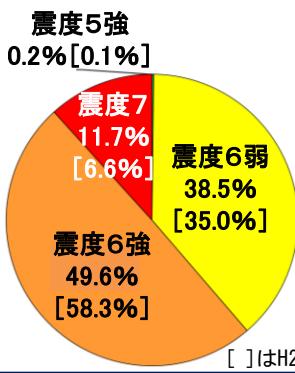
### 3) 地震継続時間分布



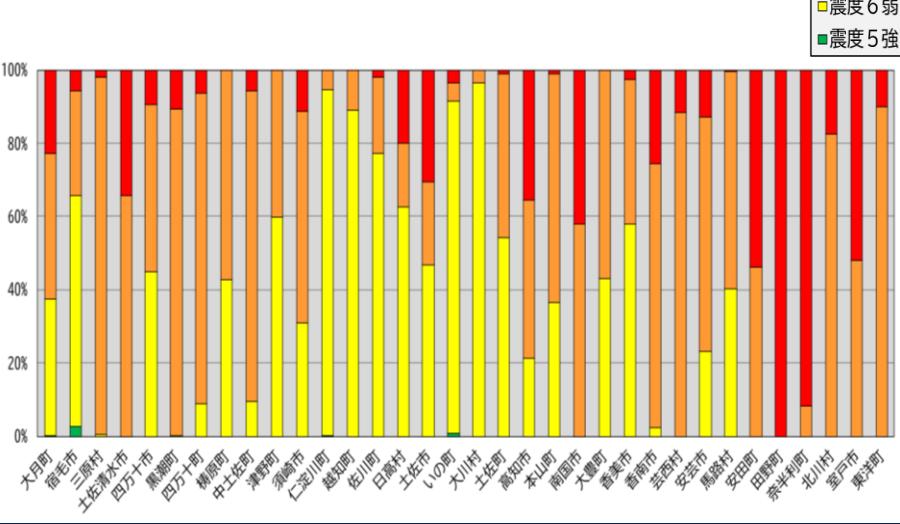
破壊開始点に近いほど、揺れの継続時間が長くなる  
※破壊開始点は紀伊半島の南  
※地震継続時間は、震度3相当以上の揺れの継続時間

### 面積割合 (H24→R7)

【震度7】  
6.6% → 11.7% (▲5.1)  
【震度6強】  
58.3% → 49.6% (▲8.7)



### 4) 最大震度の占める面積割合 (市町村単位)



## 津波浸水予測

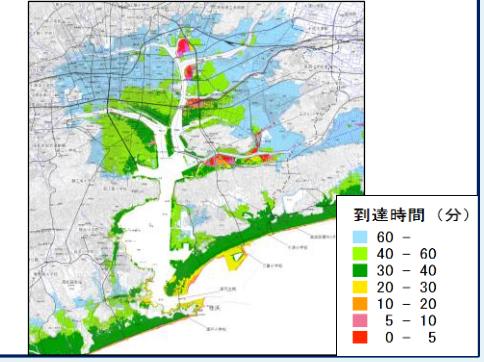
### 1) 推計の条件

- 内閣府の11ケースの津波断層モデルの内、高知県沿岸で最大の津波高が発生する6ケースで推計
- 最新の地形データなどを反映し、より精緻な推計を実施
- ・最新の地形測量データを反映(測地成果2024(標高改定)、航空測量結果(地形図)を反映)
- ・詳細な地形図に変更(H24 10mメッシュ → R7 5mメッシュ) ※メッシュ:網の目状に区分
- ・直近10年の期望平均満潮位を反映
- ・高知港の三重防護事業などの堤防の整備状況を反映

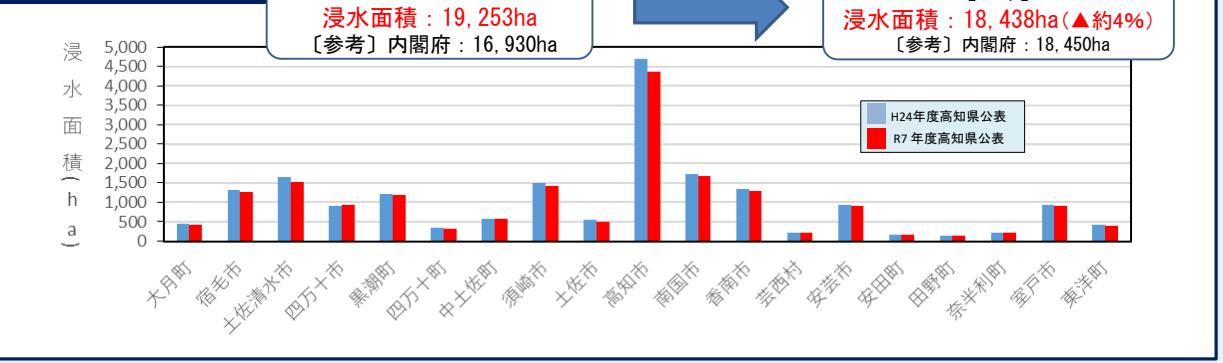
### 2) 市町村庁舎付近の最大浸水深

名称	最大浸水深 (m)	到達時間 (分)	
		最大浸水深	浸水深30cm
東洋町役場付近	5.4	39	23
室戸市役所付近	2.2	33	33
奈半利町役場付近	4.3	52	16
田野町役場付近	4.5	53	48
高知市役所付近	0.3	308	-
土佐清水市役所付近	3.4	34	33

### 3) 津波浸水予測時間 (浸水深30cm)



### 4) 津波浸水面積



### 5) 津波高さ

